

「大分市歴史的風致維持向上計画」(案)の市民意見公募において寄せられた意見等の概要と  
それに対する本市の考え方

意見提出期間：平成31年2月7日 ～ 平成31年3月8日

意見提出者数：3名

意見件数：6件

質問番号	意見概要	パブリックコメント意見	意見対応
①	冊子化への要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>ぜひ、冊子等にして配布していただきたい。また、学校教育や生涯学習の場で活用することができれば、もっと市民の方に興味を持っていただけるのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市では、可能な限り市民の方々に郷土学習資料として活用して頂くことや本市へ観光等でおとずれた皆様に対しまして、本市の歴史に関心を持って頂けるようHPの掲載等活用を考えております。ご提案いただいた冊子等の配布に関する内容につきましては、今後の参考にさせていただきます。</li> </ul>
②	歴史的建造物の定義	<ul style="list-style-type: none"> <li>大分市には多くの歴史的な建物がまだまだ残っていると思うが、計画に載っているものとそうでないものの違いは何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画書に記載している建造物候補につきましては、建築年数が50年以上を経過したもの。また、「歴史的風致」として、建造物と関連した活動(祭り等)や景観が一体となったものについて掲載しています。今後計画の見直しを行うなかで条件に当てはまるものにつきましては反映していきます。</li> </ul>
③		<ul style="list-style-type: none"> <li>大分市には著名な建築家がおられ、将来的にはこれらの建物も歴史的に意味を持つ建物になるのではないかと。これらの建物については計画に触れることはできないのか。</li> </ul>	
④		<ul style="list-style-type: none"> <li>または、将来的には計画の見直しを行い計画に位置づけられる可能性はあるのか。</li> </ul>	

質問 番号	意見概要	パブリックコメント意見	意見対応
⑤	計画期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画は歴史を取り扱って、過去から現在までの歴史や建物、祭礼などの活動を踏まえて計画が立案されています。それを踏まえると計画期間が10年間というのは短いのではないのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」により計画期間は、おおむね5年から10年と定められています。なお、歴史的風致の維持向上に関する新たな事業がある場合には、計画期間の見直し等を行うことも可能となっております。計画策定後においても本市にある貴重な歴史的風致を保存して後世に継承していきけるように努めてまいります。</li> </ul>
⑥	歴史に関する情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラグビーワールドカップの開催で世界的な注目が集まる中で、大分市をPRできるチャンスであると思っています。府内城や大友館等に大分市の歴史をしっかりとPRして世界の方々に来ていただけるきっかけになるといいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在整備を進めております大友氏遺跡につきましては、「史跡大友氏遺跡整備基本計画(第1期)」に基づき、大友宗麟の生きた時代を体感できる施設として、「南蛮 BVNGO 交流館」の整備やボランティアガイドの養成、各施設及び文化財説明板等のインバウンド対応に取り組んでいます。また、「大分市観光戦略プラン」においても歴史を活かしたテーマ別観光周遊ルートづくりや大友氏400年の歴史や遺産を活かしたプロモーション等による情報発信を推進しています。これらの計画を踏まえ、本計画においても大友氏遺跡情報発信事業や大分城址公園整備・活用事業等推進し、情報発信に取り組むこととしています。</li> </ul>